

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

過去や現在を分析して得られた知識は、未来の出来事を予測するときにA程度の指針には成り得ますが、未来の出来事がその通りにB起こることはまずありません。

まだ何も起こっていない未来は、過去の指針が示す以上に広範囲です。したがって、未来を考察するには、過去や現在の知識だけではなく、未来の状況や状態に関するより広範な「未来の知識」が必要になってくるのです。知識の研究によって生み出されます。ところが、一言で知識と言っても、多くの学問分野と未来学とは、その生み出し方に根本的な違いがあります。他の学問分野では、研究対象は、過去に存在していたか、現在存在しているかのどちらかです。そこで、その研究対象を観察したり、それに対して何らかの実験を行ったりすることが可能であり、数値による言葉によるかの違いはありますが、その対象に関するデータを集めることができます。そして、これらのデータを分析することにより、事実や現実に関して新しいことがわかり、それが、その分野の知識になります。

これに対して、未来学の研究対象は未来の出来事や未来の人々です。どれもまだ存在していません。存在していなければ、データを得ることもできません。そのような状況で、未来についてわかることを「未来の知識」として示すために、「未来学は『演繹的思考方法』と「想像力」を用います。まず、未来の社会やその状況は、過去や現在との「類似の部分」とまったく「新しい部分」とから構成される、と考えます。

そして類似部分については、多くの学問分野に存在する知識を演繹的に活用して明らかにしようとします。たとえば、未来の経済状況を考える際には、経済を推進させる要因や停滞させる要因が経済学の知識としてわかっているの、それらが未来ではどのように働いていくかを考察します。また、未来の交通システムを考える場合には、過去の運輸技術はどのような背景の下に現れてきたか、それらの技術はどのような発展をたどってきたか、そして、交通システム、人、産業はどのような関係を築いてきたかといった交通システム分野での知識の中で、未来にも適用できると考えられるものを参考にします。ア 一方、未来のまったく新しい部分を考察するには、人間が持っている、未知の事柄を思い描く力である想像力を使います。イ 客観的なデータに基づいて知識を生み出すという、広く受け入れられている科学的手法から判断する

3 本文中には次の一文が入る。入る場所として最も適しているものを本文中の [ア] ~ [エ] から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

しかし、研究において想像力を用いることは、すでに他の多くの学問分野で行われていることだ。

4 次のうち、本文中の [2] に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 過去や現在の類推で考えられる部分とまったく未知の部分に共通して適用できる知識を演繹的に応用しながら
- イ 過去や現在の類推で考えられる部分には既存の知識を演繹的に応用し、まったく未知の部分には想像力を働かせて
- ウ 過去や現在の類推で考えられる部分とまったく未知の部分との相違点を、想像力を駆使して明らかにすることだ
- エ 過去や現在の類推で考えられる部分には既存の知識を活用し、まったく未知の部分にはそれを演繹的に応用することだ

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いづれの書をよむとて、初心のほどは、かたはしより文義を解せんとはすべからず、まづ大抵にさらさらと見て、他の書にうつり、これやかれやと読みては、又さきによみたる書へ立ちかへりつつ、幾遍もよむうちには、始めに聞こえざりし事も、そろそろと聞こゆるやうになりゆくもの也。さて件の書どもを、数遍よむ間には、其の外のよむべき書どものことも、学びやうの法なども、段々に自分の料簡の出で来るものな

と、知識を主観的な想像力から生み出すことなど、一見、認められないことのように思われるかもしれません。ウ

たとは、考古学では、大昔の人類がどのような暮らしをしていたのかを明らかにするために、人類の残した様々な痕跡を発掘し、それらを分析します。エ この点では、過去の事実を見つけそれを分析するので、客観的であると言えますが、分析結果を、知識として本や映像などのメディアに表現する時には、必ず人間の想像力を駆使して、過去は決して再現できないので、過去の様子の再現は、データを基にして想像力で補います。

このように、考古学、歴史学、文化人類学、宇宙学などのように、現在目の前に存在しない対象を研究する学問分野では、必ず、研究者の想像力が活用されています。未来も、目の前に存在しません。したがって、まったく新しく起こるであろう部分を明らかにするためには、想像力が必要になってくるのです。こうして、未来学では、 [2] 、総合的に未来の知識を創造します。

(小野良太『未来を変えるちょっとしたヒント』による)

1 本文中の [A] ~ [D] の [ ] を付けた語のうち、一つだけ他と語調の異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

2 [1] それぞれ、その分野の知識になりますとあるが、多くの学問分野における知識の生み出し方について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。 [a] に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から二十五字で抜き出し、初めの五字を書きなさい。また、 [b] に入る内容を、本文中のことばを使って二十字以上、三十字以内で書きなさい。

[a] のものごとを研究対象として、 [b] ことによってわかった事実や現実に関する新しいことが知識となる。

れば、其の末の事は、一々さとし教ふるに及ばず、心にまかせて、力の及ばむかぎり、古きをも後の書をも、広くも見るべく、又簡約にして、さのみ広くはわたらずしても有りぬべし。 村岡典嗣 『うひ山ふみ 鈴屋答問録』

1 [1] 初心のほどとあるが、初心のころの書の読み方について、本文中で述べられている内容を次のようにまとめた。 [a] に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から三字で抜き出しなさい。また、 [b] に入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで十字以上十五字以内で書きなさい。

最初からすべての意味を理解しようとするのではなく、まずは大方を見て、 [a] をあれこれと読んでまた前に読んでいた書へ戻りながら何度も読むうちに、少しずつ、はじめに [b] ようになっていく。

2 [2] 立ちかへりつつを現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

3 [3] 自分の料簡の出で来るものなればとあるが、次のうち、自分の料簡ができてからの書の読み方について、本文中で述べられていることごとと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 古い書から新しい書まで広く読むだけでなく、それらの内容の本質をしつかりと理解しながら読むことに精一杯力を注ぐのがよい。
- イ 自分の心のままに精一杯古い書から新しい書まで広く読むことも、要点をしぼってそれほど広くにわたらず読むこともあってよい。
- ウ 古い書から新しい書まで広く読むよりも、自分が心から知りたいと思うことに要点をしぼり、それについて書かれたものを読むのがよい。
- エ 自分の知りたいことだけを効率よく知ろうとするのではなく、より多く のことを知るために、古い書から新しい書まで広く読むのがよい。

三 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)~(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)~(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 栄誉をたたえる。 (2) 話が佳境に入る。
(3) 大会への参加者を奨励。 (4) 本を携えて旅に出る。
(5) 教室を美しくタモつ。 (6) 屋根をササえる柱。
(7) キュウキュウ箱を常備する。 (8) 専門リョウイキを広げる。

2 次のうち、返り点にしたがって読むと「其の一を識つて、其の二を知らず。」の読み方になる漢文はどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 識 其 一、不 知 其 二。
イ 識 其 一、不 知 其 二。
ウ 識 其 一、不 知 其 二。
エ 識 其 一、不 知 其 二。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

古い和本をひるがえしていると、ときおり本のあいだに木の葉のはさまれているのを見つけることがある。どれほど古いものなのか、手にした葉は乾ききって、もう元の色をとどめてはいないが、その輪郭を見れば、これは銀杏の葉、これは朝顔の葉だというように見分けはつく。

本に木の葉をさしはさんだりするのは、べつに珍しいことではない。名勝の地を訪れたおり、庭園に落ちていられるきれいな一葉をひろって、ささやかな記念としたり、落葉の時に、①象牙に黄をにじませたような銀杏の葉や、窠(くさ)の色を思わせる紅葉の葉を手にして、読みさしの本のあいだにはさんだりするの、よくあることだろう。後日、たまたまひらいた本のあいだに、色褪

どだった。まことに、ものを知らない人間には知る喜びがある。あの枯葉は、はるか昔、今よりもずっと貴重であった本をいとおしんだ心遣いの、かすかな痕跡であったのだ。丹念に木の葉を本のあいだにさしはさんでいた、さも克明そうな人物にたいして、親しみに似た感情を覚えはじめた。あのととき風に飛ばしてしまつた枯葉をささ、にわかには惜しむような気持ちになつた。

①(鶴ヶ谷真一「書を読んで羊を失う」による)

- (注) 象牙 〓 ここでは、薄いクリーム色のこと。
窠(くさ) 〓 窠で陶磁器を焼いた時に起こる、予測しない色などの変化。
風雅 〓 風流で優美なこと。
伊藤仁斎 〓 江戸時代の儒学者。
丁 〓 書籍の紙数を数える語。
後学 〓 学問・技芸などで、先人のたどつた道をあとから進むこと。またそのようになゆるがせにしない。おろそかにしない。
よすが 〓 機軸。
荷風 〓 永井荷風。明治期から昭和期の随筆家・小説家。
紙魚 〓 和紙・書籍などを食いあらず、体長一センチメートル程の平たく細長い虫。

1 次のうち、本文中の①に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア まさか イ どうして ウ まるで エ たとえ

2 そのとき手にしていた本とあるが、次のうち、この本を読んでいるときの筆者について、本文中で述べられていることと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 本の間にはさみ込まれている色褪せた一葉を見つけて、自分がその葉をはさみ込んだときのかすかな記憶がふと思ひ出された。
イ 本に葉がはさみ込まれていることは珍しいことではないが、古い木版本が葉のはさみ込まれた状態で残っていたことに驚きを感じた。
ウ 本の間から次々と葉が見つかり、名勝の地を訪れたおりや落葉のときなど、何かよすがとしてはさまれたものではないと思えてきた。
エ 行間や上部の欄外に書き入れをしなから読んでいくうちに、学問の道筋と心構えや古人の精神を理解することができ、肅然とした気持ちになつた。

せた一葉を見つけて、かすかになつた記憶をしばたどつたりすることもまた……。

②そのとき手にしていた本は、しかし、風雅をこととするような本ではなかつた。伊藤仁斎の『童子問』。学問の道筋と心構えを懇切をきわめて講じた、三巻からなる木版本だつた。木版本の場合、本に記載された日時が、実際の刊行時期と異なることがあつたから、その本も実はそれほど古いものではないのかもしれないが、奥付けにあたる最後の二丁には、宝永四年(一七〇七年)とあつた。

行間や上部の欄外に、朱をまじえた丁寧な細字で、おそらくは子弟のためと思われる書き入れがなされてあり、はるか後世のおぼつかない後学には、それがことのほかありがたかつた。その書き入れにはまた、もうひとつ別の効用もあつた。読んでみると、何事もゆるがせにしない古人の精神が乗り移りでもしたものが、こちらもういづらか肅然とした気持ちになるのだ。

はじめ、木の葉のはさまれているのを目にしても、さして気にはならなかつた。二つ折りにして綴じられた紙のすきまに、葉はひそませるようにはさみ込んである。しばらくすると、必ずひそませた葉が、薄い和紙を透かして見えてきた。二、三丁めくると、必ずひそませた葉が、薄い和紙を透かして見えてくる。とても何かのよすがに、などというものではない。いったい誰が何のためにと考えているうちに、次々と見つかるその黒字んだ葉が、何かいとわしいものと思えてきて、見つけ次第、窓から投げ棄てていった。木の葉は実に久方ぶりに、戸外を吹きすぎる風に舞つたことになる。

そうか、あれは紙魚を防ぐためのものだったのか。ひとたび分かつてみれば、そんな自明とも思われることになぜ気づかなかつたのか、我ながら不思議なほど……。

③にわかには惜しむような気持ちになつたとあるが、筆者がこのような気持ちになつた理由として、本文中で述べられている内容を次のようにまとめた。aに入る内容を、本文中のことばを使って二十字以上、三十字以内で書きなさい。また、b、cに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、bは九字、cは六字で抜き出すこと。

『枯葉の記』の一節にいたつたとき、かつて筆者が手にしていた『童子問』の間に a ということが分かり、 b と思つて風に飛ばしてしまつた枯葉は、はるか昔の人物が今よりもずっと貴重であつた本をいとおしんだ c であつたと思つたから。

5 次の【資料】は、日常の言葉遣いや話し方、あるいは文章の書き方などといった国語に関する意識や理解の調査における「国語は乱れていると思うか」という質問に対する回答結果をまとめたものです。【資料】の内容にもふれながら、「国語は乱れていると思うか」という質問に対するあなたの考えを別の原稿用紙に書きなさい。ただし、あとの条件1・2にしたがって書くこと。

【資料】
「国語は乱れていると思うか」(全国の16歳以上を対象に調査)
Pie chart showing: 乱れていると思う (30.2%), 乱れていないと思う (66.1%), わからない (3.7%)
「乱れていると思う」と考えた理由
○ 敬語を正しく使えていない人が多いから。
○ 若者言葉や新語、流行語が多用されているから。
○ 語句や慣用句、ことわざを正しく使えていない人が多いから。
「乱れていないと思う」と考えた理由
○ 言葉は時代によって変わるものだから。
○ 多少の乱れがあっても根本的には変わっていないから。
○ いろいろな言葉や表現がある方が自然だから。

条件1 「国語は乱れていると思うか」という質問に対するあなたの考えを示したうえで、なぜそう考えたのかを説明すること。
条件2 二百六十字以内で書くこと。

受験 番号	番
----------	---

得点	
----	--

〈問題五を除く〉

二				
3	2	1		
ア イ ウ エ		b		a
		10		はじめ
		ようになっ		ていく。
		15		

/16	/4	/2		/6	/4	採点者記入欄

一							
4	3	2				1	
ア イ ウ エ	ア イ ウ エ	b				a	A B C D
		20					
		30					

/21	/4	/4		/6	/4	/3	採点者記入欄

四							
3						2	1
c	b	a				ア	ア
						イ	イ
		30				ウ	ウ
		と				エ	エ
		いう					
							20

/21	/4	/4		/6	/4	/3	採点者記入欄

三									
2	1								
ア イ ウ エ	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
		リ ヨ ウ	キ ユ ウ	サ サ	タ モ	携	募	佳	栄
		イ キ	キ ユ ウ	え る	つ	え て	る	境	誉

/14	/2	/2	/2	/2	/2	/1	/1	/1	/1	採点者記入欄

